

## 大倉土地改良区第72回通常総代会

総代会の開催、誠におめでとうございます。日頃より、田中理事長様をはじめ、総代の皆さまには、農業の発展のため、ご尽力をいただいておりますことに、感謝申し上げます。

さて、昨年も暑い日が続き、そして肥料や資材、そして燃料費などの高騰で大変苦勞されたことと思います。しかしながら、稲作につきましては、少しではありますが、単価もあがり、希望がもてると感じているところです。

町では、令和6年度、改良区の運営補助や土地改良整備事業の工事費の償還補助、そして、施設の維持管理における整備費用、また電気代高騰に対する支援を行ったところです。

現在、町では令和7年度の一般会計当初予算、前年度に比べ2.8%増で議会に提案する予定であります。その中で、この建物も令和8年1月ごろには解体を始め、令和9年4月を目標に建替えるよう計画しているところで、改良区の事業に差し支えないよう、調整をさせていただいているところです。また、改良区からの予算等要望につきましても、精査し、予算計上したところです。

いずれにしましても、農業生産の持続的な発展に絶対に欠かせない「水」と「土」、すなわち農業用水と農地の整備として、次の世代につないでいくためにも絶対に欠かせない事業が土地改良事業であります。大倉土地改良区の役割は重要と認識し、町としましても、県や国と連携を密にし、できる限りの支援の継続をお約束いたします。

本日の総会が実りある会となりますこと祈念して、総代会開催のお祝いの言葉とさせていただきます。

令和7年3月6日

北栄町長

手嶋俊樹